



脳卒中患者における骨格筋指標と日常生活動作の関連性についての研究

2021年4月1日から2022年3月31日までに脳卒中のためにリハビリテーションを受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「脳卒中患者における骨格筋指標と日常生活動作の関連性についての研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2021年4月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院脳卒中集中治療科にて、脳卒中のためにリハビリテーションを受けられた患者さんの骨格筋指標と日常生活動作の関連性を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脳卒中患者における骨格筋指標と日常生活動作の関連性についての研究

研究期間：研究実施許可日～2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 理学療法士 石山 大介

(2) 研究の意義、目的について

脳卒中は様々な神経症状を呈し、要介護の主要な要因となる疾患です。その為、早期から予後を予測し、日常生活動作の再獲得にむけたリハビリテーションを開始することが重要です。近年、脳卒中患者さんの日常生活動作の再獲得の予後予測には、筋肉の評価が重要とされており、生体電気インピーダンス法により、ベッド上で全身の筋肉についての詳細な評価が可能となりました。生体電気インピーダンス法は、体内に微弱な電流を流し、筋肉を評価する方法であり、非侵襲的かつ簡易に測定可能です。しかし、脳卒中患者さんの日常生活動作の再獲得と筋肉の評価についての報告はまだ乏しく、さらなる研究が必要とされています。本研究では、脳卒中患者さんにおける生体電気インピーダンス法で測定された筋肉の指標が日常生活動作の再獲得に与える影響を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年4月1日より2022年3月31日までに日本医科大学付属病院脳卒中治療科にて、脳卒中のためにリハビリテーションを受けられた脳卒中患者さんの臨床データ、InBody（体の成分を測定できる機器）で筋肉量などのデータを解析し、神経学的評価（麻痺の程度等）と転帰についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、背景（疾患名、既往等）、治療内容、入退院時神経所見、臨床検査値、リハビリ項目（体組成評価、日常生活動作評価）

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 理学療法士 石山 大介

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6520 03-5814-6371（リハビリセンター直通）

メールアドレス：d-ishiyama@nms.ac.jp